



グリーンレター Green Letter

Green Column グリーンコラム

01 花と虫と杞憂

02 想像以上の魚道の効果

Vol.327

2024/09/01



城坂結実《キツリフネ》

Photo 今月の1枚

美舟のような形の黄色い花が、ぶら下がるように咲くので、黄吊り舟。1年草なので、毎春、種から発芽します。ゆるく波打つ葉の形が特徴的で、花が咲く前でも見分けやすい草花です。今月号のコラムには、よく似たピンク色の花を咲かせるツリフネソウも登場します。どちらも、美幌町に秋の訪れを告げてくれる花です。(城坂結実)



01 Green Column グリーンコラム

花と虫と 杞憂^{きゆう}

写真・文／城坂結実

グリーンレター第319号（2023年12月1日号）で、ウキウキゴケというユニークな和名（日本語の名前のこと）を持つ植物を紹介しました。このように植物の和名には、思わず笑みがこぼれるものもあれば、ほうと感心させられるものもあります。

秋の気配が漂い始める9月頃、美幌町の市街地にあるせせらぎ公園や、昭野地区の小谷沢川などで、ピンク色の花を咲かせるツリフネソウ。写真のように、ラッパ型の花が、細い茎にぶら下がるように付いています。

花の形が、舟のようにも見えるからでしょう。舟型の花が吊り下がって咲くことから、「吊り舟草」という和名がついています。

ツリフネソウの花が咲くと、その花蜜を求めてマルハナバチの仲間がやってきます。花蜜は、花の奥の細くなっている部分にあるので、マルハナバチ

は深く潜り込んで蜜を吸います。その間、右へ左へと、ゆらゆら揺れるツリフネソウ。花と一緒に落ちてしまうのではないかと、見ているこちらが心配になるほどです。しかしそんな人間の心配は無用のようで、マルハナバチは花を落とすことなく蜜を吸い尽くし、飛び立っていきます。ツリフネソウの花を支える細い茎は、案外丈夫なようです。

ちなみに、よく似た形のキツリフネは、花の色が黄色なので、区別できます。美幌町内では、キツリフネの方をよく見かけるので、探してみてください。

想像以上の 魚道の効果

写真・文／町田善康



グリーンレター第320号と第321号で紹介した美幌オリジナル魚道により、9つあった段差が解消され、昭和50年代以降、魚が全く遡上できなかった川に、再び魚が帰ってきました。今年の7月には、魚道設置に携わられた北海道の担当者や、美幌博物館ボランティアの皆さんと一緒に、魚道の効果を調べる魚類調査を行いました。

これまでも、魚道をつければ、たくさんのサクラマスやイワナが戻ってくることが分かっていたましたが、今回魚道をつくった川では、私の想像をはるかに超える数の魚が戻ってきていました。

魚道を設置する前、25mの調査範囲には、ハナカジカが数匹しかいませんでした。それが、魚道設置によってサクラマスが41匹、イワナが83匹になったのです。さらに驚くべきは、魚道の下流でした。魚道設置前、高い

段差を越えられない魚がたくさん採れました。魚道をつけると、これらの魚は上流へと泳ぎ上がっていくので、捕獲数は減っていききました。しかし、魚道設置をして数年が経つと、魚道設置前よりも多くの魚が魚道の下流で見られるようになったのです。サクラマスやイワナは、2－3年経つとサケのように海で大きくなって生まれた川に戻ってきます。大きく育った親が子を産む、さらにその子が大きくなって戻ってくる。この繰り返しで、河川全体の魚の数が急激に多くなったのだと思います。

ちょっとだけ手助けしてあげれば、自然は十二分に答えてくれるのだと、改めて痛感しました。だからこそ、今後も、魚道づくりに励んでいきたいです。

Exhibition 展示

特別展「フィルムで振り返る美幌の歴史」

10月20日(日)まで

ロビー展「すごい標本!すごい資料!」

10月8日(日)まで



Event イベント

持ち物等は申込時にご確認ください

博物館でお宝をさがせ!

9/1(日)～9/29(日)

美幌博物館・参加費は観覧料に準ずる

申込み/申込み不要

美幌みどりの村ふれあいまつり 無料開館

9/8(日)

美幌博物館・無料

プチ工房「やってみよう!草木染め」

9/13(金)、14(土) 10:00～12:00、14:00～16:00 自由入室で作品
ができ次第終了

美幌博物館 1階 講座室・600円(バック)・800円(エプロン)

講師/城坂結実(美幌博物館)

対象/どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)

敬老の日 無料開館

9/16(月)

美幌博物館・無料

博物館講座(芸術編)

「ふるさと(びほろ)に想いを乗せて」

9/21(土) 10:00～11:30

美幌博物館 2階 視聴覚室・無料

講師/中村 裕氏(陶芸家・北海道陶芸会会長)

対象/中学生以上(小学生以下は保護者同伴)

申込み/美幌博物館に電話で申込み(-9/20)。定員 36 名で締切。

博物館講座(自然編)

「キノコの不思議ワールドー裏山でキノコ探しー」

9/28(土) 10:00～12:00

みどりの村森林公園(集合解散は博物館)・100円

講師/枝澤則行氏(ふるさと美幌の自然と語る会)

対象/中学生以上(小学生以下は保護者同伴)

申込み/美幌博物館に電話で申込み(-9/25)。定員 20 名で締切。

送付先の変更、または停止などをご希望の場合

お引越などでご住所が変わられた、あるいは送付を止めてほしいなどのご希望がございましたら、美幌博物館までお知らせください。



Tweet つぶやき

今年は色々忙しくて、まだ1度もキノコ観察に行けていません。それでも、体験学習の講師などで、外に出るたび、ちょこちょこ見かけるキノコに胸をときめかせています。もうすぐ秋。今年の夏は雨が多いので、菌糸が伸びていると思うと、いても立っても居られません。(町田善康)



美幌博物館月刊情報誌 Green Letter

【発行】美幌博物館

【デザイン】城坂結実

【編集】八重柏誠

【お問合せ】美幌博物館

〒092-0002

北海道網走郡美幌町字美禽 253-4

Tel. 0152 (72) 2160

Fax. 0152 (72) 2162

